時事新報の石版附錄板垣伯の肖像

貴に讀者投票の結果に四り時事新報の石版附錄と爲す可き板垣伯の肖像は本月中旬寫し取りたる伯の寫眞を本とし之を美麗なる石版畫となし本月八日の時事新報に添へて讀者に配布す

時事新報定價

時事新報へ一年三百六十五日一日も休刊せず其代價郵送料廣告料へ左ノ如シ

一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓

〇時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ郵送スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月十五錢ノ郵送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

月曜日并に大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限り時事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月前金八錢にして地方に郵送する分は此外に郵便の實費を申受く可し

一行五號活字廿四字詰	一日限	一日以上	七日以上
	六日迄		
一行ニ付	十二錢	十一錢	十錢五厘

時事新報

本編は英儒スペンサー氏近作の論文を抄譯したるものゝ原文は題してFrom Freedom To Bondageと云ふ依て之を社會復古論と名け數日間の社說に代ふ

社會復古論

社會事物の成行に關して人間普通の斷定は往々事實に反するもの少からざる其中に（出版の著書を禁制せんとして却て其流行を催ほし、高利の割合を減せんとするの計畫は偶ま以て借手の不利を來し、又物を產する土地に於ては他の地方に於けるよりも其物を買ふに困難なる類の如し）最も奇なる一事は事物の改良ます〳〵高きを加ふるに在り英國の人民が全く政治上の權力を有せざるの時に於ては其有樣に就て不平を唱ふるもの極めて稀なりしが其自由制度次第に發達し歐洲大陸の諸國何れも英の政風を羨望するに至りて國內の不平は却て甚しく貴族政治の弊を喋々して民權の擴張を要め既に其要むる所を得れば更に其上の擴張を要めて其擴張の足らざるが爲めに政治の益々惡風に赴くを訴ふるが如し又婦人の待遇に就ても往古あらゆる苦役は婦人の負擔する所にて纖に男子の殘餘に食み又中世に至りて漸く男子の食事に侍するの暇を得たる其當時より社會交際の問題には常に婦人の申分を第一に置くの有樣と爲りたる今日までの事歷を通覽すれば其體面の美は申迄もなく又陽に之を敬して陰に云々するものもある可らず然るに實際には婦人の待遇に關する不平は日に盛にして殊に婦人の樂園と稱せらるゝ米國よりするの聲最も高きが如し又今を去る百年以前には世人の酒を嗜むひと一般の風にして途上相逢ふて顏の紅を帶びざるものなく一二瓶を倒すの量なきものは人に輕蔑さるゝの有樣なれども誰れ一人として飲酒の害を云々するものなかりしが五十年來種々の原因と共に禁酒會員などの盛力も多少の效を奏して飲酒の風、割合に減少したるにも拘はらず酒類賣買の惡結果を防かんとて政府に法律を發せしめんとするの要求、今日に至りて益々急なるが如し教育の如きも亦その例を同ふするものにして數代前までは讀書の藝は實際上等中等の社會に限るものとして下等の勞働社會に教育を普及せしめんとの說を唱ふるものとては無く若しも之あるときは一般の嘲弄を免れざりしに吾々祖父の時代に至りて二三慈善家の發起したる日曜學校の仕組次第に成長して每日學校の設立と爲り其結果として一般の人民中に讀書を能くするものは敢て珍らしからざると共に低價の教育を得んとするの情願俄に增長して遂に人民は智識欠乏の爲に死に飢せず、國家は單に人民を教育するのみならず之を强行せざる可らずとの聲を聞くに及べり而して又人民を衣食住及び日用品に關する人民生活の有樣に徵するに亦以て同樣の例を發見す可し野蠻未開の時代は姑く擱き下等人民の食物は大麥もしくは穀類の製の麵包に過ぎず衣は纖に賭に到りて脛を露はし家は唯一間にして假突の設なきのみならず蓆常紳士の宅と雖も四壁蕭然として板泥を施さゞりし十五世紀の時代と天下到る處一般に白麵包を消費し十五世紀の時代主人と同樣にして二枚もしくは三枚を重ねて全體を蔽ひ又その家屋は何れも一間以上を有して然も窗、烟突、硝子窓を備へざるはなく或は屏障塗戸の設さへ少なからざる今世紀の有樣とを比較すれば非常の進步を致したるものと云はざるを得ず而して其進步は今代に至りて殊に著しきを見る可く六十年前貧人の數非常に多くして乞丐の徒到る處に充滿したる當時の現狀を知る所の人は今の等働社會の人民が新らしき相應の家に住ひ日曜日の晴着は頗る身奇麗にて下女などの衣服は殆んと其主婦と見まがふものなきに非ず且その食物の如きも生活の度の高まるに隨ひ贅澤に赴きたるを見て驚かざるものゝある可らず即ち其變化たる時運の進步に伴ふて一方には賃銀の割合騰貴すると共に品物の價低下し又一方には租稅の賦課法その宜しきを得て上等社會に重きを加ふると共に下等社會に負擔を減じたるとの二樣の原因に外あらず而して今日に於ては社會公共の安全の如きも苟も民生多數の利害に關する事とあれば忽ち議院內外の輿論と爲り又多少の身代ある人々は競て慈善の業に從事する等ふれを公共の安寧に關する社會の勢力甚だ微々たりし昔日に比すれば殆んど同日の談に非ざる可し然り而して民生の心身の有樣は前記の如く著しく進步し死亡の割合の減少の如きは以て一般の生活の甚だ難苦ならざるを證するにも拘はらず社會の弊害を訴ふるの聲は益々喧しく遂に今の社會の組織を碎粉に歸し更に之を改造するに非ざれば到底その弊害を矯正すると能はずとて之を喋々する者次第に多きが如し即ち前に記したる事物の弊害減少するに隨ひ却て其弊害を喋々するの聲ます〳〵高きの實を見る可し然り而して我輩は右の如く世論の奇怪ある次第を云ふと雖も左ればとて實際に今の民生の艱難を輕々看過するものに非ず今日の社會に弊害の匿正す可きもの固より少あからずして世間多數の民は猶は悲境に沈論して其襲難辛苦の情態憫察す可きもの甚だ多し試みに社會組織の現狀を見れば苟も同類同情の心あるものは之を滿足するみと能はずして又その社會の人々の舉動も毫も感服するに足らざるものあるを知る可し階級の區別嚴重にして財產分配の不公平なるは人生眞成の希望に反するものにして其間に浮沈生々するものゝ舉動も概して人意に可あらざるもの甚だ多きが如し例へば彼の競爭の弊を指斥する多數の人々は競爭より生ずるあらゆる利益を一概に抹殺し去り社會人文の次第に進步して民生の生活を容易にしたるは生存競爭の結果なるみとを忘れ又生產者としては競爭の爲めに損するみとあるも消費者としては却て益する所あるの實を察せず唯其弊害のみを喋々して其利を云はざるの風あるにあらざれども事の實際を詳にすれば其害は大にして利益は案外に少あるを見る可し要するに今の競爭の仕組は兎に角に詐僞不正の精神を養成して諸種の害惡を製造するものと云はざるを得ず試みに其着しきものを計ふれば巧に低價の模造品を製出して眞正の物品を市場外に騙り、不正ある度量衡の使用を促し、賄賂の手段を驅入して製造家問屋より番頭丁稚に至るまで商賣社會一般の氣風を腐敗せしめ、詐僞の風を既勵して溫顏、人を欺かざるものは其社會の擯斥を受くるに至らしめ、正直無垢の商人をして往々自から其惡風に陷るか然らざれば其得意を失ふの岐路に泣かしむるが如き何れも競爭の餘弊に非ざるはなく然のみならず商賣社會に普通にして而も日々法廷の公判又は新聞紙上に現はるゝ詐僞手段の如きも其原因の過半は實業社會に於ける競爭の影響と今の商賣上に流行する豪奢濫費の弊習に歸するものゝ如し而して是等の小弊害の外に其毒の最も大なるものは競爭の結果として實際に勞働者の得る所甚だ少なくして理事者監督者の益する所甚だ多きの一事に在り然りと雖も我輩が玆に競爭の弊を論ずるは競爭其物の非を云ふに非ずして競爭の仕組に於ける弊害と他の仕組に於ける弊害と孰れが實際に甚しきやを知らんとするに外あらざるのみ

（以下次號）

雜報

○歐洲大陸通信（四月十日發）

在白耳義ブラッセル府

行政學博士西源四郎氏寄送

各國の政略（昨日の續き）

三國同盟の中に在て兎角に世間の批評を受るものは伊太利なり同國は同盟政略に加りし爲め佛國と射利上の爭を惹起し財政の困難を來したる尙は其上に政略の爲めに莫大の軍費を消費したる結果は國庫欠乏して人民負擔に堪へず家產を傾け流民となり南亞米利加に移住するもの年々其數を增加せり然るに前宰相クリスピー伯は更に顧る所なく專ら海防を嚴にし陸兵を增し以て不時の變に備へんとす蓋し伯の斯くの如くなるも亦深く慮る所ある事にして伊國の位地たるや獨逸に與し墺國に結ぶ上は一朝歐洲に事ある日に當りて伊國の役目は地中海上の防禦に在り陸は獨墺二國の軍を以て大陸中央に一大防禦線を敷き南北の連絡を斷絕せば假令へ風波を生ずることあるも以て平和を維持するみとを得べし即ち伊をして海を防がしめ獨墺二國をして專ら陸に當らしむるは三國同盟の目的なり今一步を進めて三國相互の關係及び國勢上の如何を見るに其同盟は各自の國勢上に利害得失を共にする所より必要を生じたるものと云ふべし獨逸は强なりと雖も北に露國あり南に佛國ありて腹背敵を受くるの憂あり今日若し事あれば佛國は第一に獨逸を衝んとするなべく露國は盧に乘じてバルカン半島を志し墺國を籠ふて以て南侵の目的を遂げんとするあらん墺國は爭地亂鬪の中央に立ち四隣强國に接するみとなれば局外に中立するみとを得るや如何甚だ疑しき所あり而して何れの邊に同盟を求むべきか露國にあらず伊國にあらず只だ一の獨逸あるのみ獨逸に與する日は互に敵國となるの日は互に同盟を受け南に利害得失を計るみとも求めざるべからず其の交を結ぶ加はりしも國と合して備へしめんの憂なくも伊と云ひ伊と云ひて結びたる事を爲さゞるも遂に來りも地に立ちこれあるべきの今三國同盟するに當時獨伊の間に存ずる此三宰相の間に存ずる知るものゝ如し政略少事あく各國の影響を及ぼすスマーク伯の內閣の評を下すスピー伯の議院が人望に財政の二大軸を握らたり殊に人民スピー伯の一月三入稅增額反對說の稅したるけれども七に當りなれば到て斯く財サラ地方是れ前

〔ニ〕新橋停車場時刻　新橋發（下り）　午前六時（急行）、七時、八時、九時、九時卅五分（急行）、十時四十五分、十一時四十分、午後一時十分、二時（急行）、三時三十五分、四時四十五分、五時五十五分、六時五十分、（急行）、七時三十分、八時三十分、九時五十分（急行）、十一時十五分、六時五十分、（急行）、八時二十分（急行）、九時四十五分（急行）、午前六時三十分、八時二十分（急行）、十時十分、十一時十分（急行）、午後零時五十五分、一時五十分（急行）、三時五十五分（急行）、五時四十五分、一時五十分（急行）、三時五十五分（急行）、五時四十五分、一時五十分（急行）、三時五十五分（急行）、五時四